

○第5期メンタルヘルス法務主任者資格認定試験

[基礎問題]

解答は別紙解答用紙に記載して下さい。(問題用紙は回収いたしません)

【産業保健（1）】

(1) 次の文章のうち、適当なものの組み合わせを選んで下さい。(配点5)

- (ア) 現在、がんになり患する労働者数は男女ともに増加傾向にあるが、50歳代前半までは、全世代において女性のがん罹患率が男性のがん罹患率より高くなっている。
- (イ) 定期健康診断の際にがん検診を同時に行う場合、がんは法定検診項目ではないので、がん検診に関する結果について、事業者には保管義務はない。
- (ウ) 我が国における65歳までのがんの生涯罹患リスク（一定年齢までにかんになり患する者の割合）は男女ともに約20%である。
- (エ) 子宮頸がんは子宮体がんは感染症であるが、乳がんは生活習慣病である。

- ① アとイ ② アとウ ③ ウとエ ④ エのみ

正解：①

【産業保健（2）】

(2) 次の文章のうち、適当なものの組み合わせを選んで下さい。(配点5)

- (ア) 長時間労働者への医師による面接指導は、常時50人未満の労働者を使用する事業場では、努力義務となっている。
- (イ) ストレス・チェック制度における医師による面接指導は、ストレス・チェックの実施者又は共同実施者である産業医が行わなければならない。
- (ウ) 長時間労働者に対する面接指導制度では、事業者は、面接指導を行った医師等の意見を聞き、必要に応じて、事後措置の実施に努めることになっている。
- (エ) ストレス・チェック制度では、事業者は、面接指導を行った医師等の意見を聞き、必要に応じて、就業上の配慮等に取り組む義務がある。

- ① アとイ ② イとウ ③ ウとエ ④ エのみ

正解④

【精神医学】

(3) 次の文章のうち、適当でないものを1つを選んで下さい。(配点5)

- ① 労働者の強迫性が強い場合、相手の立場や感情を扱うことが困難であることに起因して、人間関係の問題から不適応を起こすことがある。
- ② ディスチミア親和型と呼ばれるような、葛藤を保持することが困難な適性を持つ労働

者は、抑うつになるだけでなく、書類の隠匿や虚言作話など、葛藤回避的な問題行動を起こすことがある。

- ③メランコリー型うつ病の病理特性は、自己愛の強さであるため、被害者の立場に固執し、「私は会社の被害者だ」と、主張し続けることがある。
- ④直面している問題を吟味洞察する習慣のない労働者は、自分の苦悩を言語的に理解しにくい事から、頭痛や動悸、吐気などの身体症状として愁訴することがある。
- ⑤非定型うつ病の労働者は、気分反応性という特徴により、状況に応じて機嫌が悪くなったり、抑うつになったりするが、「自分が拒絶・批判された」と自覚した際に、不調になることがある。

正解③

【企業経営とメンタルヘルス】

(4) 次の文章のうち、適当でないものを1つ選んで下さい。(配点5)

- ①職場のメンタルヘルスを効果的に進めるには、会社のルールや職場の文化、経営目標など、様々な視点から、過剰なストレスを生みにくい職場環境を整える必要がある。
- ②健康経営とは、従業員の健康管理を経営課題として捉え、心身両面の健康を実現できるような職場環境形成を行うことともいえる。
- ③企業のメンタルヘルスを推進する場合、経営者自身がその必要性を理解することが重要だが、健康管理に携わる者は、経営者の個性や知見に応じ、有効な方法で説得を図ることが望まれる。
- ④メンタルヘルス施策に関する費用対効果については、アブセンティズムやプレゼンティズムなどの指標があるが、いずれも企業の将来利益とは関わらない。

正解④